

日本交通従業員組合本部對策二二一ス

鮮血を吹風く更生案今朝十時に発表!!

「全員辭雇」新規採用迄内貳拾五錢

誠意は遂に空し―我等の途は戦場のみ!

遂に嵐は来た。二日の深夜山下局長の急ぎを告げられた各職場代表者の召集電報は午前七時に指定してあった。

午前十時、更生案は山下局長に依りて発表された。従業員犠牲の呪ひの血を吹き出して居る古今未嘗有の大激圧は公然と存された。

「全員辭雇」震災手当、退職手当、整理手当希望退職の例に依りて直ちに渡す

初任給(月)十五を標準とする希望採用

九月十日までに誠意承認の届出を存せしる現業員は新規採用の志望者と認められ給料額は全員の月一円二十五を標準として之に現俸給高から一円二十五を控除したる殊願の割を該標準給料に加算したるものとを以て日給とすること

之れが発表され更生案は、斯様に暴案は曾って日本労働運動史上に現れたい事の無い不敵極まるものであります。未明から本部に集まつて来た大衆は此の暴案を知つて先水も極端に憤慨して居るが本部としては何論之の暴案に對しては断乎たる早急の途あるのみである。

我が組合本部が誠意を籠めて

最後の努力を盡す市電共同委員会の

回答如何で断然

大衆的闘争を開始せよ

提議!

我等は山下更生案及對の爲に徹底的活動を以て居るが、之は反對せんが爲の反對で無い事は明かである。此の立場から本部は「市電更生共同委員会」を提議するに決し、東交、局長、市長、市会議長に提議書を出した。当局にして若くは誠意なく拒絶した場合は懇談裡に解決するの意志なきものとして、その時こそ徹底的に戦ふの他は無いこと、なつた。